

植生学会誌執筆要領

1. 原著論文，短報，総説は和文または英文とし，原稿は次の順序で記述する．なお，各項目間は1行あけること．
 - A. 和文原稿：(1)表題，(2)著者名，(3)所属，(4)英文表題，(5)ローマ字著者名，(6)英文所属，(7)欄外見出し(30字以内)，(8)Abstract，(9)Key words (アルファベット順に5語以内)，(10)本文，(11)摘要，(12)引用文献，(13)図表，(14)Appendix (著者が希望する場合，執筆要領22項を参照のこと)．
 - B. 英文原稿：(1)表題，(2)著者名，(3)所属，(4)欄外見出し(約12語以内)，(5)Abstract，(6)Key words (アルファベット順に5語以内)，(7)本文，(8)引用文献，(9)要約(和文の表題・著者名・所属，和文要旨)，(10)図表，(11)Appendix (著者が希望する場合，執筆要領22項を参照のこと)．
2. 解説・意見，資料・報告については，原則として上記1.に準ずるが，和文原稿の場合は，Abstract，Key words，摘要はなくてもよい．英文原稿の場合は，Abstract，Key words，要約はなくてもよい．
3. 本文中で複数の文献を引用するときは，発表年の古いものから新しいものへ，また，同一発表年のときは著者のアルファベット順に並べる．著者と出版年が同一の文献は，年号の後にアルファベットを付して区別する．著者が3名以上で第一著者・出版年が同じ文献も同様に区別する．また，3名以上のものについては，「…ほか」または「… et al.」とする．記述は下記の例および最新号の形式に準ずる．

…が明らかにされている(宮脇・奥田 1990; 木佐貫ほか 1992; 佐藤 1992; Sakio 1997; 久保ほか 2000a, b; Sakio et al. 2002)．
4. 引用文献は本文中に引用したものすべてを著者のアルファベット順に記載する．記述は下記の例および最新号の形式に準ずる．

堀川芳雄 1948. 氷河期前の植物群落と見なすべきエビゴケ. 生態学研究, 11: 27-31.
Keeley, J. E. 1987. Role of fire in seed germination of woody taxa in California Chaparral. Ecology, 68: 434-443.
郡場 寛 1972. 植物生理生態, 第14版. 養賢堂, 東京.
Krebs, C.J. 1978. Ecology: The experimental analysis of distribution and abundance, 2nd ed. Harper & Row, Publishers, New York.
宮脇 昭・奥田重俊 (編) 1990. 日本植物群落図説. 至文堂. 東京.
沼田 真 1967. 植物的環境の解析と評価. 「自然: 生態学的研究」(森下正明・吉良竜夫 編), 163-187. 中央公論社, 東京.
Parker, V. T., Simpson, R. L. & Leck, M. A. 1989. Pattern and process in the dynamics of seed banks. In: Ecology of soil seed banks (eds. Leck, M. A., Parker, V. T. & Simpson, R. L.), 367-384. Academic Press, San Diego.
ピールー, E.C. 1969. 数理生態学 (南雲仁一 監訳, 合田周平・藤村貞夫 訳 1974). 産業図書, 東京.
Remmert, H. 1980. Ecology: A textbook (trans. Biederman-Thorson, M. A., 1980). Springer-Verlag, Berlin.
5. 論文中に引用できるインターネット上の資料は，原則として情報の永続性が保たれているものに限る．永続性の判断が困難な資料の引用については，編集委員会の指示に従うこと．電子ジャーナルは引用文献に他の印刷物と同様の形式で記載する．データベース等は引用文献には記載せずに，本文中に下記の例に準じて記載する．

高山試験地の年降水量は気象庁の電子閲覧室 (<http://www.data.kishou.go.jp>, 2003.9 参照) に掲載されているデータを代用した．
山火事の平均焼失面積は National Interagency Fire Center, Wildland Fire Statistics (<http://www.nifc.gov/stats/wildlandfirestats.html>, 2003.10 参照) のデータから算出した．
6. 和文原稿は，A4版の白紙に上下各3cm，左右各2.5cm程度をあげ，34文字，30行を1ページとする．なお，各ページ左余白に行番号を打ち，下部余白中央にページ番号を振ること．
7. 英文原稿は，A4版の白紙に上下各3cm，左右各2.5cm程度をあげ，約80文字，30行を1ページとする．なお，各ページ左余白に行番号を打ち，下部余白中央にページ番号を振ること．投稿前に英文校閲を受けること．
8. 本文中の見出しおよび小見出しはボールドとする．
9. 本文中の動・植物名の和名はカタカナ，学名(属名・種小名など)はイタリック体とす

る。

10. 最終原稿におけるボールド，イタリック，上つきなどの各種指定はすべて朱書きで行うこと。
11. 上記以外の体裁については，最新号の書式または学会ホームページの「原稿の表記に関する細則」を参照すること。
12. 原著論文は刷り上がり 12 ページまで，短報，資料・報告は 6 ページまで，総説は 16 ページまで，解説・意見は 8 ページまでを無料とし，原著論文と総説以外は原則としてこのページ数を超えないものとする。超過分については，編集委員会が認めた場合に限り，著者の負担で掲載することができる。超過ページ印刷代は学会ホームページの「各種印刷料金」を参照すること。
13. 投稿時における原稿量の基準は，表題および Abstract，本文等，図の説明，図表を含む総原稿枚数で，短報，資料・報告は 15 枚以内，解説・意見は 20 枚以内とする（ただし本要領 6, 7, 14, 16 項を満たすこと。A4 版用紙に収まらない図表はその実枚数とする）。原稿量がこれらの基準を超える場合は，編集委員会の指示に従うこと。原著論文と総説は原稿量に制限を設けない。
14. 図，表等は 1 枚ずつ別紙に書き，著者の責任において作製すること。また，図表の欄外余白に図表番号を振るとともに，各図表の挿入希望位置を本文原稿の右側余白に指定すること（最終原稿では朱書き）。
15. 図，表，写真等のカラー印刷は所定の料金とし，著者の負担とする。料金については学会ホームページを参照すること。
16. 表の説明は表の上部に書くものとし，図の説明は，図の下部に書くものとする。
17. 1 ページに収まらない表は，著者の負担で折り込みとすることができる。料金については学会ホームページを参照すること。
18. 最終原稿（作成したアプリケーション形式のファイルとテキストファイル）および原図・写真等（高解像度のもの）は，原稿受理後に編集委員会の指示に従って送付すること。
19. 著者校正は原則として初校に限って行い，誤植の訂正にとどめる。
20. 別刷は 1 論文につき 50 部を無料で受け取ることができる。これを超える別刷を希望する場合は著者の負担で作製する。別刷の必要部数（無料分を含む 50 部単位）を投稿原稿送付状に明記すること。
21. 植生学会誌掲載論文は，科学技術振興機構の総合電子ジャーナルプラットフォーム（J-STAGE）上で公開される。
22. Appendix のうち，編集委員会が必要性を認めたものは誌面に掲載する。以下の内容のものは，編集委員会の判断の下，J-STAGE に電子付録として掲載することができるものとする。
 - ・採択の可否とは無関係の図表（現場の写真，フロラリスト，組成表，植生調査資料など）で，かつ著者が公表を希望するもの。
 - ・採択の可否とは無関係の図表で編集委員会が公表を依頼し，かつ著者が公表を承諾したもの。
23. 原稿の作成・送付にあたっては，植生学会ホームページの「論文投稿」も参照すること。

付則 1. この要領は 2016 年 11 月 11 日以降に投稿された原稿に適用する（2016 年 11 月 10 日改定）。

付則 2. この要領の改定は，編集委員会の議を経て，運営委員会の承認を得て行うものとする。